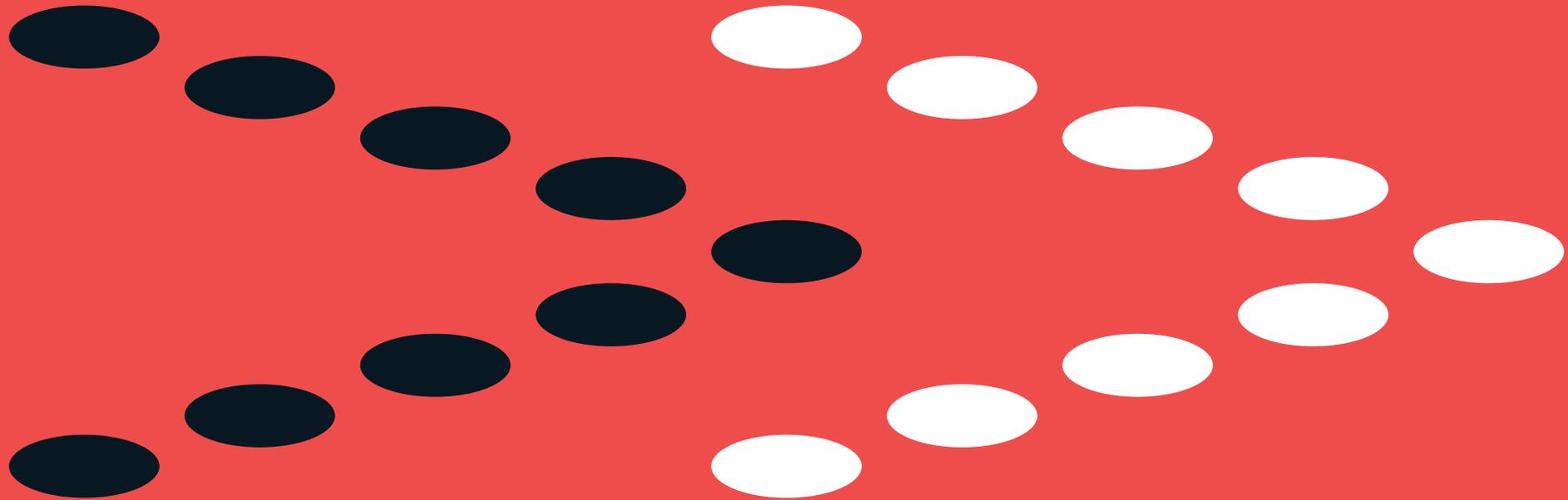


Future

SEEKING

Program



Future SEEKing Program

概要

“未来洞察”と“きざしの発見”を起点として、製品・サービスにおけるイノベーションを短期間のデザインスプリント手法で支援するプログラムです。

未来洞察から設定された仮説をコンセプトとして具象化し、スピーディに製品・サービス全体の体験設計を行い、その体験を共有できる状態にプロトタイピングすることで、まだこの世に存在しない未来の製品・サービスに関する仮説検証を行うことが可能になります。

新規事業領域のコンセプト策定や、既存製品・サービスの提供価値のリフレーミングをスピーディに行い、未だこの世にない領域の製品・サービスのコンセプト開発を行うことができます。



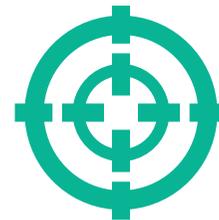
達成したいこと

様々なテーマや関心事における極端なライフスタイルを持つ生活者を定点調査した「トライブ・リサーチ(提携サービス:SEEDATA GLOBAL)」を分析・再解釈を通して、過去の延長線上には見いだせない未来の価値(未だニーズに至っていない価値)について、未来の“きざし”を見出すことで、強い仮説を早期に設定する。



Backcasting

現在のユーザー(生活者)の課題にフォーカスして改善策を検討するフォーカスティング(Forecasting)ではなく、未来のユーザー(生活者)およびその人たちとの理想的な関係や状態から引き戻して検討するバックキャストイング(Backcasting)で仮説を策定する。



Issue Focus

現状とさほど変わらない未来イメージや、バイアスによる限定的な視野に囚われることなく、内発的な動機によって、主体的に向き合える新しい問いを立てる。



Design Sprint

各種リサーチによって策定された仮説をプロトタイプングして検証するまでをクイックに進めることで、仮説に対する主観的な確信(コンフィデンス)を高め、客観的な裏付け(エビデンス)を得るステップに繋げる。

Program

期間 • 1ヶ月～

参考価格 • 300万円～

STEP1 初期仮説の策定	STEP2 未来洞察	STEP3 仮説デザイン
<ul style="list-style-type: none"> - 既存保有データやデスクトップ リサーチデータの共有と解釈 - 制約条件と仮説初期ビジョンの設定 - 解釈すべきトライブの探索 	<ul style="list-style-type: none"> - トライブリサーチレポート作成 - 先進事例の収集 	<ul style="list-style-type: none"> - リサーチ共有 - 主観的キーワードピックアップ 統合セッション - 仮設定義 - コンセプトステートメント策定
STEP4 サービスデザイン	STEP5 プロトタイピング	STEP6 仮説検証
<ul style="list-style-type: none"> - サービスジャーニー策定 - ヒーローペルソナ策定 - サービスインタラクション策定 	<ul style="list-style-type: none"> - プロトタイプ作成 	<ul style="list-style-type: none"> - SME (Subject Matter Expert) インタビュー - フィードバックレビューセッション

Sample Output

トライブの例



科学技術の発展は、健康・ヘルスケア業にも波及し、高度技術を利用したプロダクトが数多く誕生。人間が生きるために必要な栄養素を過不足なく備えた完全食や、DNA型を分析して、望ましい生活習慣や気をつけるべき疾病などを把握するツールなどがその代表だ。生活者の側にも、このようなプロダクトを仕組みのレベルから正しく理解し、健康を追求・増進しようとする、医者や博士顔負けの知識を持つ生活者が現れてきた。彼らからヘルスケアの未来を読み解く。

未来洞察レポートの例

トライブの価値観を解釈しプロジェクトのインプットマテリアルとしてまとめたレポート



Related TRIBE



#005 DOCTOR-SUMER

日々の食生活の中に完全栄養食品を取り入れ、健康的な生活を追い求める生活者

完全栄養食品を食事に取り入れたり、食堂の列の長さで食事内容を決める、などの行動で「何を食べるか」を考えることを省略している。

「メニューを迷って選べないので、列で決めてます。食堂以外で食べに行けと言われてたら、一番近い所の一番安いメニューを選ぶと思います。基本なんでもいいんです、腹がふくれば。」

男性20代会社員 Nさん

Get in touch

idl@infobahn.co.jp

<http://www.idl.infobahn.co.jp>

Follow us

 @idlists

 infobahndesignlab

 infobahndesignlab

 idl_mag

